

徳島県 高校入試情報

令和7年度徳島県入試の全体傾向

●入試問題の構成と特色

- 大問数は5問、小問数は26問でほぼ例年どおり。
- 大問1は基本の小問集合、大問2は連立方程式の利用、大問3は方程式の利用、作図、大問4は関数と図形の融合問題、大問5は相似の証明を含む三平方の定理と空間図形が出題された。
- 大問2は身体活動量について、大問3は時計の表示の仕方について(会話文)で身のまわりの問題。問題文は長いが誘導に従っていくとよい。
- 長文から必要な情報を読み取る読解力や、証明問題の記述力は、過去問を解いてしっかりきたえよう。

★徳島県の入試は、『数学の新研究』でバッチリ！

■関数と図形の融合問題の出題

・例年どおり、直線や放物線のグラフと図形を融合させた問題が出題された。
動点と面積の変化の問題にも対応できるように、対策しておきたい。

新研究で対策！

- 「変化のようすに注目！図形上の動点を考える問題」(p.180～181)、「チャレンジ！関数と図形の融合問題」(p.184～185)で、応用問題を解く力をつけることができます。

■証明問題の出題

・例年どおり、図形の証明問題が出題された。全文記述式の出題であるため、記述式の証明問題への対策が必要である。

新研究で対策！

- 「ウォームアップ特集 合同の証明」(p.82～83)、「フォロー特集 マチガイから学ぶ！答案の書き方のコツ～図形の証明～」(p.96～97)で、証明のポイントや、証明の書き方のコツを詳しく解説しています。
また、「共通部分を見つけよう！合同と相似の証明」(p.182～183)で、集中強化できます。

図形の証明問題に慣れておきましょう。
長文形式の問題にも数多く取り組みましょう。



★徳島県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

出題内容別の傾向	単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
	1年内容				
	正の数・負の数	●	●	●	●
	文字と式	●	●	●	
	方程式		●		●
	比例と反比例	●	●	●	●
	平面図形	●		●	●
	空間図形		●	●	●
	データの分析と活用		●	●	
	2年内容				
	式の計算	●	●	●	●
	連立方程式		●		●
	1次関数	●	●	●	●
	図形の調べ方	●	●	●	●
	三角形				
	平行四辺形	●			
	確率	●	●	●	
	データの比較と箱ひげ図	●	●		●
	3年内容				
	式の計算	●		●	
	平方根	●	●	●	●
	2次方程式	●	●		
	関数 $y=ax^2$	●	●	●	●
	相似な図形	●	●	●	●
	円の性質			●	●
	三平方の定理	●	●	●	●
	標本調査				●
出題形式別の傾向	大問数	5	5	5	5
	小問数	30	26	27	26
	記述問題	図形の証明(説明)	1	1	1
		その他の説明・証明など	1		
		立式・解法の過程の記述		1	
		作図(図形)	1		1
	作図(グラフ)				

★新研究で出題した徳島県の入試問題(令和7年度)

p.9大問1,p.119大問4(2),p.135大問1(1),p.155大問3(1),p.183大問3,p.190大問1